

患話休題

かんわきゆうだい

44



ダニアレルギーの舌下^{ぜっか}免疫療法

昨年からダニによるアレルギー性鼻炎の舌下免疫療法が新たに保険適応となりました。

前にスギ花粉症の舌下免疫療法についてご紹介しましたが、簡単におさらいします。免疫療法とは、アレルギーの原因物質を少ない量から徐々に増やして体内に入れ、少しずつ体質を変えていく方法です。以前は皮下注射で行っていましたが、頻回の通院が必要であり、毎回注射による痛みを伴いました。このような欠点を改善したのが舌下免疫療法です。注射の代わりに舌の下に薬剤を投与するため、自宅で行うことが可能になり、患者さんの負担は減りました。

ダニは通年性のアレルギー性鼻炎の最も多い原因です。ヤケヒョウヒダニとコナヒョウヒダニの2種類があり、屋内にはどちらのダニも多くいます。特にカーペットや布団などにたくさん生息しており、生きているダニではなく、ダニが粉々になった死骸や糞便などがアレルギーの原因になります。

前回のお話にもありましたが、アレルギー性鼻炎の2〜3割に喘息が合併し、喘息の7割にアレルギー性鼻炎が合併していると考えられています。これら2つの疾患は、鼻のどく気管・気管支という一連の呼吸の通り道で生じていることから、互いに影響し合っている可能性があり、アレルギー性鼻炎が喘息発症の危険因子の1つであるとも考えられ

ています。現時点で確認されているダニの舌下免疫療法の効果はアレルギー性鼻炎に対してのみですが、アレルギー性鼻炎を治療することにより、喘息の発症を予防する効果も期待されています。

ダニの舌下免疫療法の内容はスギ花粉症とほぼ同じです。対象は12歳以上ですが、合併症によっては適応とならない場合もあります。1日1回の内服を少なくとも2〜3年間継続します。主な副作用は口の中の腫れや痒みですが、その多くは開始後1ヶ月間に集中し、1週間程度で出にくくなります。残念ながら治療効果が出ない方も2〜3割程度いると予想されています。また、現時点ではスギ花粉症の舌下免疫療法と同時にすることはできません。

スギ花粉症のような季節性のアレルギー性鼻炎と違い、ダニアレルギーは通年にわたって症状が出ます。症状が強い場合や内服薬を減らしたい場合には舌下免疫療法は選択肢の1つとなりますが、皮下注射法に比べ

て負担は軽減したものの、治療期間が長く、根気がいります。詳細については、治療を行っている医療機関にご相談ください。

院長
真崎 雅和

診察時間が近づいたことをお知らせする

約30分前
メールサービス

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234

FAX.018-847-1321
秋田市土崎港中央6-8-3